

技術報告会 静岡大学学長 挨拶

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石井, 潔 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027068

技術報告会 静岡大学学長 挨拶

学長 石井 潔

本年の静岡大学の技術報告会は、通算第25回となりました。今年も近隣大学や研究所などの技術職員の皆様からご参加をいただき、誠にありがとうございます。近年の科学技術の急速かつ多様な発展に対する大学における技術職員の役割は益々重要になっておりますが、一方では人員の削減を求められている現状があります。従って、少ない人数でありながら、より高度かつ広範囲な専門技術を提供することが、これからの時代には必要となります。技術報告会は、技術職員の日頃培っている技術力を公開発表し互いに切磋琢磨することで、より高度なものに向上させるとともに、他の専門分野の技術を吸収することで学際領域への対応を計り、かつ技術者間の交流を深める重要な機会となっておりますので、本報告会には私としても大いに期待しております。

静岡大学技術報告会の開催地は、静岡大学のキャンパスが静岡と浜松にあることから昨年の静岡と今年の浜松のように交互開催となっております。今年の開催地の浜松キャンパスは、旧浜松工業専門学校の系譜を引継いだキャンパスで、そのさらに前身の旧浜松高等工業学校では「自由啓発」をその理念として掲げておりました。これは、初代校長の関口壮吉先生が、できる限り自由な環境のなかで一人一人の創造性を尊重することを通してその才能を発揮させることをめざす教育を提唱し、そのことを「自由啓発」という言葉で表現されたものでございます。日本におけるテレビの父として有名な高柳健次郎先生も、この関口校長の励ましと国からの研究費獲得の手助けの下で初めて、その独創的な研究に取り組むことができたのであり、この理念は、時代を越えて受け継がれてゆくべきものであると考えております。まもなく2022年には、その旧浜松高等工業学校の設立から100周年を迎えます。このような豊かな伝統の下で、技術部も今後とも長く静岡大学に貢献できるように励んでいただきたいと思います。

静岡大学技術部は、平成24年4月に各部局の技術部を集約する形で各部局単位の業務を基本的には尊重するという形で全学一元化を行いました。そして平成30年4月からは、技術部の業務に応じて7部門から6部門に改組を行い新組織となりました。これは全学的な観点からのより適切な人材配置、人材養成を考えての事でございますが、今後浜松医科大学との間での法人統合、大学再編も予定されておりますので、必要に応じて見直す必要も出てくるものと見ております。

最後に静岡大学の更なる発展を支える基盤となる組織としての技術部の皆さんの日頃のご努力に敬意を表しますとともに、技術部全体のさらなる発展へ向け引き続きのご協力をお願い致しまして私の本日の挨拶とさせていただきます。どうも有り難うございました。